

文化振興基本方針策定委員会 開催経緯等

| | 日程・会場 | 議事等 | 主な内容 |
|---|--------------------------|---|--|
| 1 | 6月21日(水) 市役所812会議室 | (1) 正副委員長選出 (2) 委員会の運営について (3) 策定における目的とスケジュールについて (4) 武蔵野市における文化施策等の現状について (5) アンケート調査結果について | ・委員長に小林真理委員、副委員長に酒井陽子委員を選出 ・方針における文化の範囲、施策・事業の対象、方針の期間などについて意見交換 |
| 2 | 7月28日(金) かたらいの道市民スペース | (1) 第1回委員会の主な意見 (2) 本方針の体系と目次構成 (3) 文化施策に対する評価および課題について | ・施策・事業の対象、事業のあり方などについて意見交換 |
| | 8月4日(金) | 施設見学 | ・武蔵野プレイス・市民文化会館・吉祥シアター・公会堂・吉祥寺美術館を見学 |
| | 9月16日(土) 吉祥寺シアターけいこ場 | ワークショップ | ・「まちづくりに文化を活かす」をテーマに17名参加 |
| 3 | 9月25日(月) かたらいの道市民スペース | (1) 第1回・第2回委員会の主な意見 (2) 「文化に関する施策の方向性やあり方」について | ・「A. あらゆる市民に対する市内での鑑賞・体験機会について」、「B. 参加型の体験・創造の機会について」、「C. 文化の担い手の育成や多様な主体と連携について」、「D. 新しい文化の創造・発信について」の4つのカテゴリについて協議 |
| 4 | 10月27日(金) 公会堂第1・2会議室 | (1) これまでの意見を踏まえた方針の骨子案について (2) 各主体の役割について | ・「方針に盛り込みたい内容」として6つの骨子案について各委員より提案 ・主に市の役割について協議 |
| 5 | 12月15日(金) 芸能劇場小ホール | (1) 方針の柱(案)について (2) 方針の柱(案)における検討すべき事項について | ・方針の柱(案)として、「1身近に文化に触れられる機会をつくれます」、「2創造性を育む、体験の機会をつくれます」、「3文化を身近に体験し、交流・活動する環境をつくれます」、「4文化の担い手を育み、発掘し、つなげていきます」、「5文化を育て、生み出していくまちをつくれます」を提示し協議 ・「創造性」、「文化がまちにもたらす効果の武蔵野市における活用」、「文化の中間支援機能を担う人材の具体的な役割」について意見交換 |

◇文化振興基本方針策定委員会策定委員

小林真理(東京大学大学院人文社会系研究科教授)、若林朋子(立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科特任准教授)、宮崎倉太郎(境南小学校校長)、小川希(Art Center Ongoing 代表)、木本幸恵(ライブハウス シルバーエレファント 店長)、酒井陽子(ボランティアセンター武蔵野運営委員会委員長/武蔵野アールブリュット実行委員会委員長)、高萩宏(公益財団法人東京芸術劇場副館長)、花柳美輝風(武蔵野市民芸術文化協会)、青木稔(公益財団法人武蔵野文化事業団理事長)、富島佐紀(公募委員)、花田吉隆(公募委員)